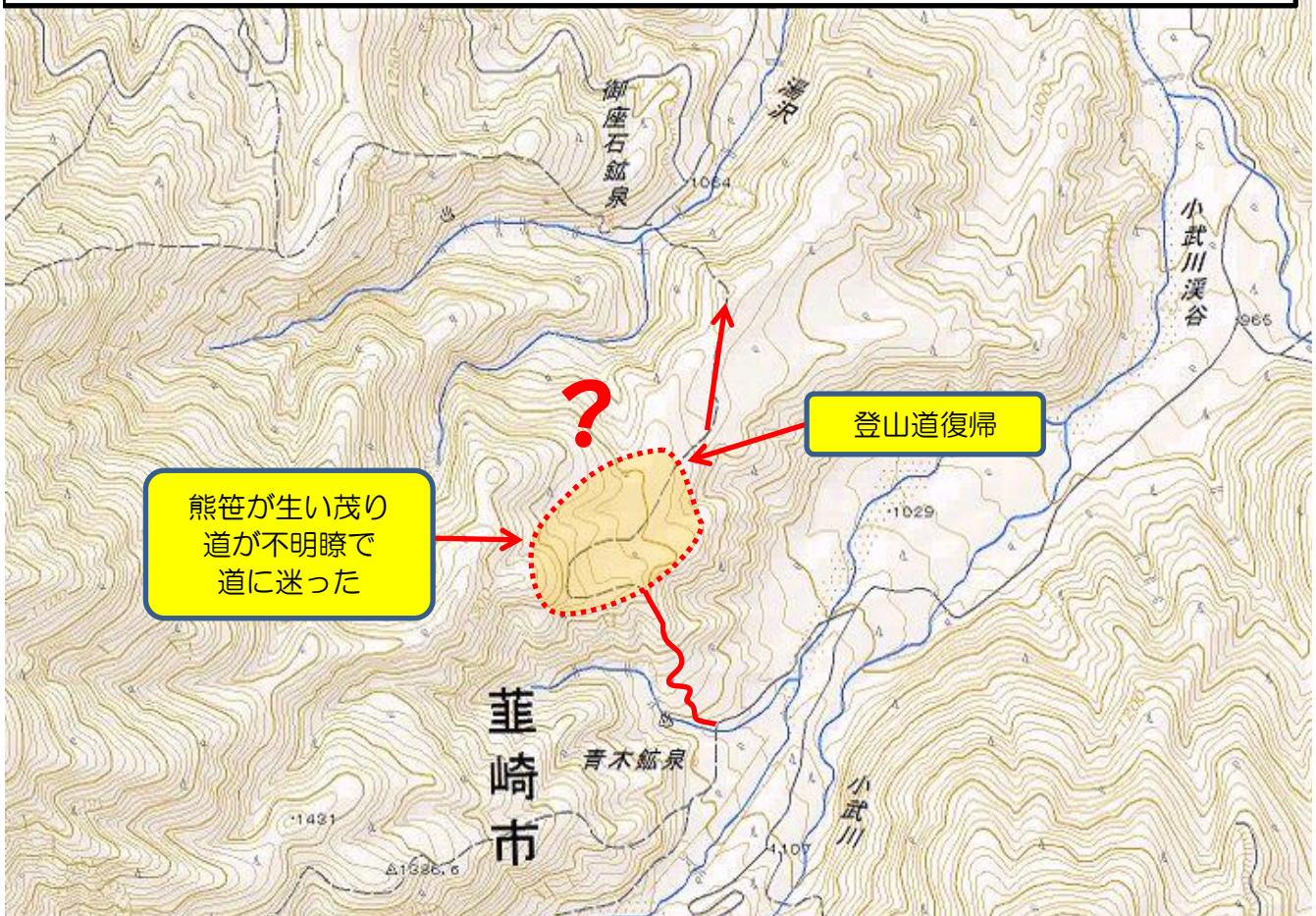


## 青木鉱泉遭難(2006年9月)

青木鉱泉から御座石鉱泉までの麓で道迷い。熊笹で道が不明瞭となり、現在位置も分からなくなった。3日間動かずに救助を待ったが救助されず、4日目、自力脱出に成功した。



## 解説

鳳凰小屋で同室した登山者に「ドンドコ沢のコースもいいですよ」と言われて気持ちが変わり、コース変更し下山。小屋を出発したのは午前6時。8時過ぎには早くも青木鉱泉まで下山した。御座石温泉までは、ゆっくり歩いても1時間ほどなので、もう下山したも同然だった。

ところが、青木鉱泉からしばらく行ったところで、県有林境界を示す杭を登山道の標識と間違え、ルートを外れてしまった。「あれっ？おかしいな？」と気づいて戻ったが、いつの間にか再び道に迷い込んだ。翌日はあれこれルートを探したが戻ることはできず、結局、動かずに救助を待つことにしたため、3日間動かずに過ごした。

4日目になると食料が無くなり、天気も崩れそうな気配だった。自力脱出を試み、歩いたところを枯れ木でマーキングしながら進むと、ひょっこり登山道に飛び出した。午後3時、御座石鉱泉にたどり着くことができた。

①登山計画を急に変更した是非。②獣道に迷い込んでから3日間救助を待つために動かなかったことの是非。麓ということで危険の度合いが低いので、早い段階でもう少し動いてもよかったのではないか？という思いがある。